

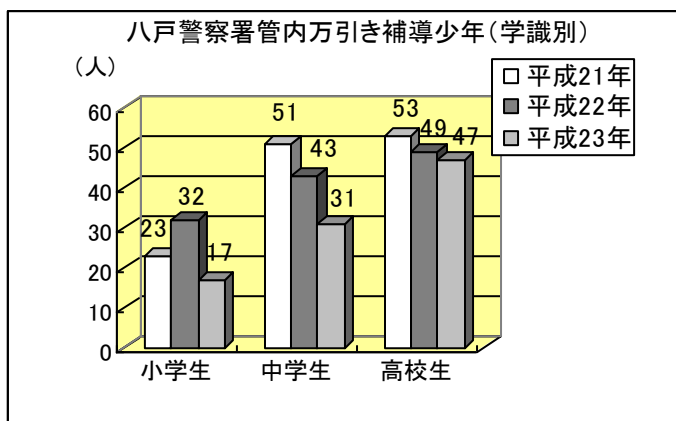
青少年の「万引きゼロ運動」を展開しましょう

＜万引きは しない させない 見逃さない＞

右のグラフは、八戸警察署管内の万引きで補導された小・中・高校生の最近3カ年の人数の推移を表したものです。平成22年中に比べ、平成23年中は、小・中・高校生とも万引きで補導された人数は減少しています。警察をはじめ、地域の諸団体、学校・教育委員会などが、パトロールや声かけなど万引き防止をはじめ少年非行防止のための様々な取組を行っています。

特に、今まで中学校・高等学校に結成されていた「少年非行防止 JUMPチーム」が、平成23年度から「リトルJUMPチーム」として小学校にも結成され、子供たちの非行防止について呼びかける活動が、万引きの減少にも効果があったと考えられます。

万引きは「犯罪」です。子供たちの規範意識が高まり、自分で心のブレーキを掛けられるようにするためにも、家庭、地域社会、学校みんなで声を掛けていきましょう。



平成23年度万引き防止標語最優秀作品 大館中学校 戸田信作さん

絆ある 八戸の輪で 万引きゼロ

知っていましたか？

～心身の健康は、正しい生活習慣の形成から～

八戸市教育委員会 教育長 松山隆豊

◆ 小中学生の肥満率は全国トップクラス！

青森県の子どもの肥満傾向児割合は、小学生女子が全国2位、男子が5位、中学生は男女とも1位となっています(H21 文部科学省調査)。肥満の原因は様々な要因が複雑に作用していると考えられますが、食生活や運動がその主な要因であることは明らかです。それを示すように、同調査の日曜日の運動習慣は、小中学生とも全国ワーストクラスです。

また、子どもだけでなく大人の都道府県別の肥満者割合も、常に全国トッ



ブクラスです。さらに、脳卒中死亡率は男性が全国2位、女性が3位（H22）であり、脳卒中を引き起こす要因となる喫煙率、多量飲酒者の割合、食塩摂取量、肥満の割合等はいずれも全国ワーストクラスです。

青森県は、子どもの肥満は全国トップクラス、そして全国一の短命県であるということを知っていましたか？

◇ 学校では・・・、行政では・・・

各学校では、保健学習、食育学習、家庭科の学習などで食生活の大切さを学んでいます。また、体育（保健体育）や部活動、マラソンや縄跳びなど、体力づくりにも工夫して取り組んでいます。

さらに、県教育委員会では家族と一緒に健康について考えるために、小学生用「めざせ！すこやか 青森っ子」、中学生用「きみの健康が青森の未来です！」というリーフレットを作成し、昨年度末に全小中学生に配布しました。参考までに、小学生用の内容を簡単に紹介します。

- ① <知ってる？青森県が、全国ワースト1だって！>…青森県の平均寿命が全国ワースト1だという資料とその原因が食べすぎ、運動不足等にあることを示し、“悪い生活習慣は、家族で引き継がれていることが多いよ。家族みんなでリセット！”と記載。
- ② <生活チェック！>…「朝ごはんを食べない日がある」をスタートに、各質問項目に“はい”“いいえ”で答えながら進み、自分の課題を見つける。
- ③ <知ってる？青森県の子どもの肥満は、全国 No. 1 だって！>…Q&Aで肥満の問題点を学ぶ。
- ④ <自分の体チェック>…肥満度判定曲線に自分の身長・体重を記入しチェックする。
- ⑤ <すこやか青森っ子になるために、できることから始めよう！>…「子どもの生活は、大人が手本に」「子どもの食事は中身が大事」の観点で自分の生活や食事の改善点を探る。
- ⑥ <すこやか青森っ子になるために、1日1時間（60分）は、体を動かそう！>…「①学校へは歩いて通う（分）+②外で遊ぶ（分）+③お手伝いで運動（分）」…時間を記入しながら確かめる。

このようなリーフレットが、全児童生徒に配布されていることを、知っていましたか？

✦ 家族そろっての生活習慣改善がポイント！

すべての保護者は、子どもたちが将来にわたり心身共に健康であることを願っています。その願いを達成するためには、「小児肥満はその70%が成人肥満に移行する」との報告もあることから、幼児期からの正しい生活習慣形成がポイントです。県教育委員会の「リーフレット」を参考に、家族そろって「我が家の生活習慣」をチェックすることから始めてみませんか。朝食抜き、偏食や食べすぎ、スナック菓子や炭酸飲料等の取り過ぎなど、食生活に問題はありませんか？ 外遊びや徒歩での登校、お手伝いなど、意識的に運動を心がけていますか？ 早寝早起きなど生活のリズムはできていますか？ このような、身近なところから家族そろって見直すことが大切です。

正しい生活習慣が身につくと、健康が増進し、運動能力も伸びます。その上、最後まで諦めない心、我慢する心、集中する心、思いやりの心など、“心”もしっかり育まれます。

その結果、学力が向上し非行等の問題行動も減ります。このことを、知っていましたか？

♡ 学校・家庭・地域で「子育て」の共有を！

子育てはどの保護者にとっても大変なことです。様々な不安や悩みを聞くこともあります。そこで私は、市内全教職員に保護者との『子育て』の共有をお願いしています。保護者の子育ての悩みなどに耳を傾け一緒に考える、子育てのパートナーとなってほしいからです。また、八戸市青少年問題協議会では「『子どもたちは地域から育む』という視点による連携強化」を活動提言に掲げています。子どもたちの正しい生活習慣形成のためにも、子育てで悩んでいる保護者を孤立させないよう、周りのすべての人が“声かけ・目をかけ・心をかけ”、時には“手をかけ”、側面から支えていきましょう。子どもたちの心身の健康は、私たちの“未来”なのですから。